

「医法協アカデミー」▶第81回

日本医療法人協会東京都支部として 初の総会・医療経営セミナーを開催

日本医療法人協会常務理事、東京都支部長／社会医療法人社団慈生会理事長 伊藤雅史

課題山積の医療法人制度改革 セミナーを通して情報提供

昨年11月29日、東京・お茶の水医学会館(東京医科歯科大学医科同窓会館)9階大会議室において、一般社団法人日本医療法人協会東京都支部総会・医療経営セミナーを開催しました。今回の支部総会は支部長としての初仕事であるだけでなく、東京都支部としても初めての開催であり、医法協アカデミーへの寄稿は、編集者の意向もあり、試行錯誤の連続で何とか開催に漕ぎつけた同支部総会の報告をもって充てることとしました。

さて、平成24年度末で前任の須藤祐司先生が医法協常務理事・関東ブロック長・東京都支部長を勇退され、25年6月より私が医法協常務理事並びに東京都支部長を拝命し、それに伴い東京都支部事務局も嬉泉病院から等潤病院に移行しました。その後、支部運営に関して医法協事務局とも協議して、会則を新たに作成し新役員を選任するなど、医法協の外部支部として正式に届出をして運営することといたしました。

医法協の会員数は昨年12月末で1,024法人であります。東京都支部は46法人にすぎず、人口比からすると残念ながら少ないことは事実です。会員



数の確保は支部としての基本的活動となりますが、まず支部自体がしっかりとした基礎を築いたうえで、会員の皆様のご協力を得て、活動を強化していかなければならないと考えた次第です。なお、新会則では医法協会員である正会員のほかに、賛助会員の規定を設けています。

また、2025年に向けてさまざまな変革の道筋が明らかとなりつつありますが、日本の医療を支えてきたのは民間病院であり、医療法人の基盤を確固たるものとする働きも求められています。たとえば、医療法人制度についても、財団と社団の合併、あるいは法人の分割、持分なし医療法人への移行推進、さらには非営利ホールディングカンパニー型医療法人などが検討されています。しかし、これらの医療法人制度改革は、医療法人の運命を左右しかねない重大な問題でありながら、一般的には関心が薄い

という印象があります。

病床機能報告制度や地域医療構想などへの対応、経営基盤の強化、従業員確保への取り組み・労働環境の整備など、医療法人経営に関するさまざまな問題が山積しており、今後もさらなる課題が次々と生じることは想像に難くありません。これらの諸問題に関する会員への十分な情報提供を東京都支部は行う必要があり、その一環として総会開催にあたり医療経営セミナーも行うことといたしました。

民間病院の力を結集することの重要性を再確認

総会当日はあいにくの悪天候ではありましたが、なかには長野県から来られた方もおられるなど、予想を上回る約50人の出席者がありました。また、日野頌三会長にご臨席いただき、ごあいさつと温かい激励の言葉をいただきましたことは大変ありがたく感じますとともに、今後の東京都支部活動の方向性も示唆していただき、大いに勇気づけられました。

総会では支部長交代から総会開催に至る経緯を説明し、新会則や新役員人事についての報告を行い、平成27年度の活動方針が承認されました。次いで、医療経営セミナーに移り、3人の講師からご講演をいただきました。以下に、その内容を紹介しておきます。

講演1：医療従事者の雇用の質向上の取り組み～働き方・休み方・健康支援、働きやすさ確保、働きがいの向上～(講師：浅見社会保険労務士事務所所長、社会保険労務士・浅見浩先生)

講演2：病院経営における具体的な改善事例(講師：優経税理士法人/株式会社優経マネジメント

ト代表、公認会計士/税理士・酒井規勝先生)

講演3：2014年度診療報酬改定における病棟戦略～超急性期、急性期、亜急性期、慢性期を考える～(講師：高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科准教授・木村憲洋先生)

講演1は、勤務環境改善マネジメントシステムづくりに取り組むことで、「雇用の質」向上から「医療の質」・患者満足度向上につながり、その結果、医療従事者と患者から選ばれる医療施設となることで、経営の安定化という好循環を導くことができるという内容でした。

講演2では病院経営においては、各部門の活動成果を数値として可視化するとともに、明確化された課題を全員で共有し、全員参加型経営をめざして改善を続ける必要があると強調されました。

講演3では、医療介護総合確保推進法と平成26年度診療報酬改定から読み解く2025年に向けての医療制度改革の道筋を示され、現時点における病棟戦略、特に民間病院にとって関心の高い地域包括ケア病棟についても、具体的な試算と比較に基づき詳細に解説されました。

3講演とも素晴らしい内容で、出席者のアンケートからも非常に高い評価がうかがえました。

このたびの総会やセミナー開催は、他の支部では以前から行われてきたものではありませんが、東京都支部にとっては新たな出発となりました。東京では東京都病院協会が、さまざまな病院団体支部を統括した活動を展開しており、これからも同協会と協調して支部活動を行う予定であります。今後の支部活動を通じて、東京都における医療法人や当協会がますます発展することを祈念し、さらに会員各位からのご指導ご鞭撻を賜りたいと存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。